



いろどりの児童の作品が展示されたアートイベント。会場では子どもたちがオブジェ作りにも励んだ=長岡市の秋山孝ポスター美術館長岡



9  
1233.



## 「。ボスター美術館」

国内外で活躍するグラフィックデザイナーで多摩美術大学教授の秋山孝さんは、上組小学校の卒業生の秋山さんの作品を展示しているのが、同校に近い(秋山孝ボスター美術館長)(長岡市宮内2)

写真=だ。

美術館はかつての北越銀行宮内支店。1925(大正14)年に建

設された。地元有志が支援組織をつくり、寄付を集めることとして修復、改築し2009年に開館した。モダンな外観が特徴だ。

所蔵品は秋山さんが制作したボス

ターノード約80点。年3~4回、所蔵品を中心企画展を開いている。

スタッフの森山奈帆さん(32)は、「全

国でも珍しいボスターに特化した美術館」とPR。現在は冬季閉館中だが、4月20日に再開する。問

い合わせは同美術館、025-58(3)

# 表現通り地域と交流

## 造形活動

を感じたことを文書ではなく、絵やイラストで描いています。年に7回、朝学習ではり絵や水彩の技法など



岡元 龍馬君(12)



はげ  
さくひんてんじ  
作品展示が励みに

上組小学校は図工の授業以外にも朝学習の「造形タイム」を使い、普段から作品作りをする時間が多いです。小さい頃から絵を描いたり、物を作ったりするのが好きだったため、その時間がとても楽しい。創作に集中しすぎて、「もうこんな時間!」ということがあります。

長岡市の宮内商店街の一角にある秋山孝ポスター美術館長岡で今月、地元上組小学校の6年生76人のカラフルな版画が展示された。一日限りのアートイベント。児童が地域の人々に書いた感謝のメッセージなどを飾り付け、高さ3㍍のツリーのオブジェを完成させると「面白い」と声があがり、笑顔が広がった。

「6年間お世話になった地域の人への感謝と恩返し」と田中杏実さん(12)はうれしそう。上組小学校は日本童画の父として知られる川上四郎ら芸術分野で活躍する卒業生が多い。学校は豊かな感性や想像力を育てるため、創作活動や美術鑑賞など造形教育に力を入れてきた。連絡帳は「あのねノート」と呼ぶスケッチブックだ。子どもたちが

## 長岡市上組小学校

## どう動



岡元 龍馬君(12)



校内には、自分がたちの作品を展示する「造形通り」があります。春の芸術祭(文化祭)以外にも自分の作品を見てもう機会が多いので、作品作りはいつも力が入ります。1年生から「あのねノート」にスケッチやイラストを描いてきたので、絵は上手になりました。県立近代美術館で芸芸体験をして作品にはさまざまな見方があることを学びました。中学生になると、表現力を持つ、作品作りに生きていきたいです。

を感じたことを文書ではなく、絵やイラストで描いています。年に7回、朝学習ではり絵や水彩の技法など

時間が多い。

6年生になると毎年秋に創作に励んでいる地域の人たちなどから作品を借り、校内美術館を開設する。冬は市内にある県立近代美術館で芸芸体験をして作品にはさまざまな見方があることを学びました。中学生になると、表現力を身につけ、作品作りに生きたいです。

6年間の総上げとして、2年前からアートイベントに取り組んでい

(12)は地域の人に喜んでもらえてうれしい」と感激永井沙英さん(12)も地域の人々に思いを伝えられたと喜ぶ。造形活動と学校をつなげている。

岡が会場に。児童は商店街にいる人たちに来場を呼び掛けたり、元気よく展示作品紹介をしたり、イ

ベントはお盛り上がり。小川怜士君(12)は「地域の人々に喜んでもらえてうれしい」と感激永井沙英さん(12)も地域の人々に思いを伝えられたと喜ぶ。造形活動と学校をつなげている。

岡が会場に。児童は商店街にいる人たちに来場を呼び掛けたり、元気よく展示作品紹介をしたり、イ

ベントはお盛り上がり。小川怜士君(12)は「地域の人々に喜んでもらえてうれしい」と感激永井沙英さん(12)も地域の人々に思いを伝えられたと喜ぶ。造形活動と学校をつなげている。

岡が会場に。児童は商店街にいる人たちに来場を呼び掛けたり、元気よく展示作品紹介をしたり、イ

ベントはお盛り上がり。小川怜士君(12)は「地域の人々に喜んでもらえてうれしい」と感激永井沙英さん(12)も地域の人々に思いを伝えられたと喜ぶ。造形活動と学校をつなげている。

岡が会場に。児童は商店街にいる人たちに来場を呼び掛けたり、元気よく展示作品紹介をしたり、イ

ベントはお盛り上がり。小川怜士君(12)は「地域の人々に喜んでもらえてうれしい」と感激永井沙英さん(12)も地域の人々に思いを伝えられたと喜ぶ。造形活動と学校をつなげている。

岡が会場に。児童は商店街にいる人たちに来場を呼び掛けたり、元気よく展示作品紹介をしたり、イ